



IRON CLUB アイアンクラブ



森林ミステリーサークル

日本の森林面積は、国土の3分の2に当たる約2,500万haあり、日本は世界有数の森林国と言えます。森林の約4割が人工林で、終戦直後や高度経済成長期の造林によるものが多く、その半数以上が50年生を超えています。そうした中で、「伐って、使って、植える」持続可能な森を築くことが求められていますが、他方で、再造林も進まず森林荒廃の問題も目立っています。

森林は、産地災害防止機能・土壌保全機能、水源涵養機能、地球環境保全機能、木材等生産機能、文化機能、生物多様性保全機能、保健・レクリエーション機能などの多面的機能を持っていると言われています。今後の森林・林業の行方に注目されます。

さて、このミステリーサークルは、南宮崎の日南市の国有林内の試験林に植林された50年生の飴肥（おび）杉です。円の中心から10度の放射線との交点に36本の杉を植え、植栽の密度と成長の度合いの相関を調べたものです。どのように植林すれば、成長が早く、木材として早く使うことができるかを調べるものだそうです。この飴肥杉は、外縁部の低密度のところほど木の高さが高くなっています。中心部の低い木は約15メートル、外部の高い木は22メートルほどに育っています。上空から見るとこんなミステリーサークルになっており、植林した人もミステリーサークルができるとは想定していなかったようです。

（事務局 井田裕之）

（画像はPIXTAから）

会報194号（令和5年10月）目次

ずいそう「花と出会う」	矢島 勉	1
ずいそう「北米で最も●●●なゴルフ場」	織田文雄	6
座談会「地域の会」	地域の会幹事	9
(シリーズ) 賛助会員企業の横顔 オーミインダストリー株式会社 シマヤ株式会社		13
(報告) 関西・中部地区運営委員会から	事務局	15
(解説) ChatGPTとは	南悦郎・渡邊祐司	16
(第50回) 音楽鑑賞会「第135回定期演奏会」	福田修一	19
(第51回) 音楽鑑賞会「第136回定期演奏会」	保倉裕	22
国際ピアノコンクール2023	佐藤麻里	24
(ミュージカル) WestSideStory日本公演	仲村清美	26
(第105回) 歌舞伎観劇会	丹内孝治	28
(第8回) 夏季ゴルフ会	林岳志・木村正文	30
(第80回) 囲碁大会	木村正文・藤原孝次	31
(第141回) 麻雀大会	大西建男・平山喜三	33
お知らせ		34
新入会員の紹介		35
今後のスケジュール		36



花と出会う

矢島 勉
(元JFE商事)



私の父は盆栽が趣味で田舎の比較的広い庭に五葉松や黒松、赤松等を並べて世話をするのが日課でした。どれだけの鉢数が有ったかははっきりとした記憶はありませんが百鉢以上はあったと思います。早朝も夕刻も時間が有りさえすれば盆栽と向き合っていました。

その影響からか私は小学生から中学生にかけてサボテンの収集、育成に一生懸命になりました。庭の片隅に小さな温室を自分で作り楽しんでいました。少ない小遣いで幾種類かのサボテンを買い求め面倒を見る毎日だったのを思い出します。

一番立派だったのが金シャチでした。サボテンの王様です。でもこの種は成長、開花するまでに十数年かかるため自ら育てた金シャチが花を開くことはありませんでした。後年になって成長した金シャチを買い求め花開いたのを見て父のことや少年時代の自分を想いました。

私は中学卒業時にサボテンの面倒見はやめました。その後サボテンは庭から消えて行きました。



<北海道で>

北海道の花ハマナスは6~8cm程度の紅色の花、夏に咲く花です。非公式ではありますが「北海道の花」とされているハマナスは生命力が強くそれでいて純朴、野性的です。

友人が北海道北部の遠軽に居ましてそこに遊びに行った時でした。広大で自然味溢れるサロマ湖のほとりを歩いていると辺り一面にハマナスが咲き素晴らしい景色を作り上げていたのを覚えています。背景にはオホーツクに繋がる青い空と海。心打たれました。

森繁久彌や加藤登紀子が歌っていた「知床旅情」にハマナスが歌われているのはご存じですね。勿論この花は知床から網走、遠軽地方など広い範囲で見られます。

もう一つ忘れてはならない北海道の花はスズランでしょう。花期は4月~6月、美しく可憐で気持ちをさわやかにしてくれます。花言葉は「幸せの約束」、「純粹」です。幸福のシンボルを意味しませぬ(英語ではlily of the valley)。北海道の5月~6月はさわやかな気候で空気も澄み、その中でスズランをまた見たい。そして心を洗いたい。つくづくそんなことを思うようになりました。



<テキサスの花>

私は1985年にテキサス州ヒューストンに赴任しました。1979年イラン革命をきっかけとして起こった第2次オイルショックの影響がおさまらず国内の物価は急騰、円高が進み(対ドルが240円→160円)日本からの鋼材輸出が激減してしまった時代でした。私は鋼材輸出営業の立場でユーザーとの交渉に奔走して頑張ったのですが難航の毎日でした。

バイヤーの中には自宅を広大な牧場にして牛を放牧している人もいました。ある日バイヤーに招待されて牧場に行った時、確か3月の初旬～中旬だったと思いますが驚きの光景に出会いました。写真にあるように広大な土地にブルーボンネットが厚い絨毯のごとく広がり場所によっては寝転んでいる牛の姿も見えました。



テキサス州は日本の面積の2、2倍、人口は2900万人。エネルギー産業が盛んで石油や天然ガスの掘削、それらの精製プラントが数多く存在しています。工業化が進展する中で広大な土地と自然を有する裕福な州でした。そして大自然に囲まれ美しい花やビッグなステーキ、カウボーイに目を奪われたものです。

もう1点、これはテキサスではなくwest coastでの経験でした。アーモンド樹林に咲く見事な花です。桜の花によく似ています。アーモンド栽培の為に広大な林を作り満開時期には目を奪われます。花は3月～4月に見られます。実も美味しいけれど花も素晴らしいと思います。我が家に1本だけ有るアーモンドの花と8月に採れる実の写真をプロットしました。



<オーストラリアで出会った花>

私は1980年代から2010年代まで鋼材の輸出業務に係わっていました。東南アジア諸国やオーストラリア、中近東、アフリカと多くの国を訪ね鋼材販売に努めました。訪問国はおよそ80国になりました。思い出は沢山ありますが花との出会いも多く非常に印象的であった想いを記します。

オーストラリアを訪問した時のことです。初めてジャカランタの花を観ました。初夏に青紫色の花を咲かせ葉は鳥の羽のような形をしています。ルーツはブラジルだそうです。大航海時代にブラジルから欧州に持ち帰ったものだと言われポルトガル等でも大いに喜ばれているのです。

日本でも宮崎県の日南でジャカランタの群生林が観られます。写真は5月末に日南を訪ねた際に撮ったジャカランタの花です。残念ながら群生林とは言えませんが美しい花でした。



ジャカランタと肩を並べる凄い花がフレームツリーです。亜熱帯地域で良く観られるようです。原産地はオーストラリアで冬から晩春にニューサウスウェールズ州、クイーンズランド州にかけて咲き乱れます。この林の中に入るとまるで炎に包まれたように感じます。すさまじいものです。

ジャカランタとフレームツリーのことを書いたのはともに当時の私の仕事とかかわっています。テンダーネゴの為に顧客を訪問し苦勞の末に受注しホッとした時にジャカランタの花を観

ました。安堵の気持ちで観た青い樹林が印象深かったです。一方、交渉がうまく行かず失注し、がっかりとしていた時にたまたまフレームツリーの群生に入り込み世の中の厳しさを炎のようなフレームツリーの林の中で感じたのを思い出します。

オーストラリアは広大でまだまだ沢山の花が有ります。カンガルーポーとかゴールデンワトル（国花）とか特徴のあるものばかりです。

<不思議な出会い>

2008年だったと思います。私は或る造船会社から依頼を受けて船の進水式に命名係として呼ばれました。

四国のある港でした。鋼材や建築資材などを運ぶ船の命名です。「Golden Shower Ace」と名付けられました。私は日本ではキングサリと呼ばれている花だと思いました。キバナフジのことですね。

2年後にタイを訪問した時です。バンコックの知人に昼からご馳走になりほろ酔い気分でご馳走に出たのですが、そこにキバナフジが大きく美し



い黄色で咲き誇っていました。これが「ゴールデンシャワー」ですねと案内の人に聞いた処「オリジナルはインド産で南アジアの国々で咲いています。」と教えてくれました。そう言えば2年前に進水した船は東南アジアと日本を結び仕事をしているんだっただな。Golden Shower Aceは頑張っているだろうか？今どこを航行しているんだらう？と思い花に見とれていたのを覚えています。

ところが今回この随想を書くにあたり調べていたら、もともとはヨーロッパ南部が原産なんだそうです。5月頃に開花し花言葉は「相思相愛」です。今思えばインド産と南欧州のどちらのルーツを持つものか判りません。美しい花です。この花と相思相愛の関係になれば嬉しいです。

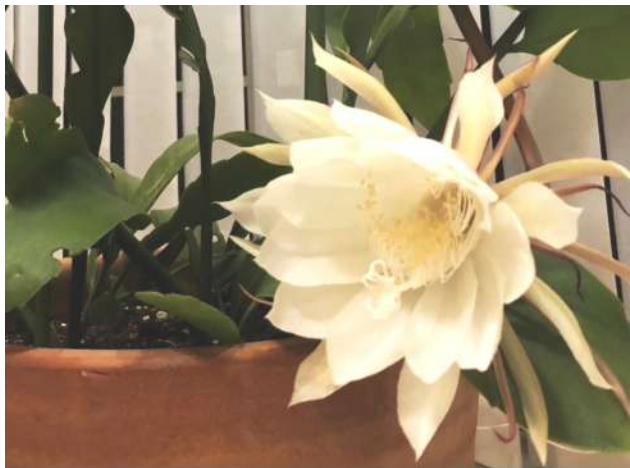
東南アジアと言えばドリアンの花も面白いです。私はドリアンが好物でタイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、フィリピン、ミャンマー、カンボジアと多くの国で食べました。中でもマレーシア産が一番好きです。貴重な花と実の写真を添付します。臭いが嫌だと言わず是非お召し上がりください。



<日本の花>

言うまでもなく日本には美しい花、珍しい花と多種多様な花々が四季折々に見られます。

本年7月7日の七夕の夜、22時頃だったと思いますが突然月下美人が咲きました。独特な香りを発散しました。そして夜半には閉じて下を向いてしまいました。英名は「lily of the night」と言うそうです。夜にしかも数時間のみの開花です。首を下げ垂れてしまった花を観ながら「短い役目を果たした」という主張と存在力を失った姿を見せていたのを感じました。哀しく見つめざるを得ません。



私は千葉在住ですので近郊の公園や花畑によく行きます。その中で2～3ご紹介したく写真を撮ってきました。

<大賀ハスについて>

有名な大賀博士が1951年に発見した三粒の種から一粒だけ成長したのです。これは2000年以上前のハスで世界最古の花と言われています。千葉公園で6月上旬に開花します。現在は、国内で250個所に分根されているそうです。

最後にアイアンクラブの新行事として本年からスタートした「地域の会」で市川市を訪ねた時の里見公園のバラの花を紹介します。多くの色鮮やかなバラの花に囲まれとても嬉しく楽しい気分になりました。花々も美しかったけれど市川市の歴史、文化には驚きました。今後も「地域の会」のような行事を継続したいものです。





北米で最も●●●なゴルフ場

織田 文雄
(元) 日新製鋼



ゴルフが最近あまり面白くない。飛距離は落ちるし、シャンクはするし、パットは入らない。ハンディキャップも年々悪くなるばかり。それでも凝りもせずゴルフ場には通っているが、私のゴルフで皆様に語れるもの・誇れるものは殆どない。あるとすれば以下の3つかもしれない。

- 2回のホールインワン
 - ・2003年7月伏尾ゴルフ倶楽部
 - ・2015年10月相模カンツリー倶楽部
- エイジラウンドを数年続けている事
 - *エイジラウンドとは年間のゴルフの回数が年齢を上回ること。
エイジシュートが出来ない人が名付けた造語。
 - ・2021年ラウンド数88回年齢73歳
 - ・2022年ラウンド数81回年齢74歳
- 北米で多くのゴルフ場を訪れ、プレーしたりトーナメントを見た事

米国には1982年から1987年までニューヨークに。2011年から2014年までシカゴに滞在した。ニューヨークもシカゴも冬は寒くゴルフの出来る環境ではない。4月中旬から10月初旬までがシーズンである。その間、仕事も兼ねて（ここが肝要）多くの北米のゴルフ場でプレーしたり、トーナメントを見たりした。そこで訪れたゴルフ場の中で私の独断と偏見で「北米で最も●●●なゴルフ場」を10ヵ所紹介したい。



1. 最も綺麗で印象的なゴルフ場 Augusta National Golf Club (ジョージア州)

ご存じマスターズトーナメント開催コース。アトランタから車で約2時間。2021年の松山英樹の優勝はまだ記憶に新しい。どのゴルフ場よりもあらゆる面で優れている。1983年と2014年の2回トーナメントを見学。1983年の日本人出場選手は青木功、羽川豊、中島常幸。2014年は松山秀樹。

2. 最も標高の高いところにあるゴルフ場 Banff Spring Golf Club (カナダ・アルバータ州)

カナディアンロッキーにある標高1,384mに位置するゴルフ場。カナディアンロッキーを旅行中、道に迷ってたどり着いたゴルフ場。折角だからと思い、翌日ハーフプレー。カナディアンロッキーを背にした雄大なコース（写真参照）。



3. 最も格式を感じたゴルフ場 Butler National Golf Club (イリノイ州)

シカゴの自宅から一時間にあるメンバー数200名のゴルフ場。女人禁制。ゴルフゲートの中はプレーヤーは勿論、従業員も女性ご法度。コースは素晴らしい。嘗てはトーナメントを開催していたが、メンバーの意向でゴルフ協会の開催要請あるも頑なに拒否。

4. 最も近くでタイガーウッズに接したゴルフ場

Conway Farms Golf Club (イリノイ州)

シカゴの自宅から約一時間のところにある名門コース。PGAトーナメント開催で訪れる。有名選手勢揃いの中でもタイガーウッズは皆の注目の的。運よく練習グリーンでタイガーウッズを撮影できた（写真参照）。ギャラリーの中にはNYヤンキースの松井秀樹の姿も。



5. 最も風の強かったゴルフ場 Harbour Townn Golf Links (サウスカロライナ州)

ヒルトンヘッドにあるリゾートコース。海辺にあり常に強風が吹いている事が多い（写真参照）。18番ホールに見える灯台が有名。例年マスタートーナメントの翌週にトーナメントを開催。2018年は小平智がPGAツアー初優勝を飾った。



6. 最もメンバーシップを感じたゴルフ場 Laurel Valley Golf Club (ペンシルベニア州)

ピッツバーグから車で2時間30分にある本格的なコース。行くときは大体ゴルフ場内で夕食・宿泊。デイナーはジャケット・タイ必須。アーノルドパーマーのホームコースの一つ。ある時、ゴルフ場内のデイナーが満席で近くのレストランで食事をしていたところ、アーノルドパーマーが隣席。パーマーがこちらの席にきて「Welcome to Laurel Valley」と握手。感激！

7. 最もクラブハウスの大きいゴルフ場 Olympia Field Country Club (イリノイ州)

2020年8月、松山英樹が3位に入ったBMW選手権開催コース。シカゴの自宅から約1時間。正直、コースの印象はあまりないが記憶に残っているのは大きなクラブハウス(写真参照)。メンバー用ロッカー・メンバー用ルーム・男性専用ルーム等々。迷子になりそう。



8. 最も駅から近いゴルフ場 Scarsdale Golf Club (ニューヨーク州)

ニューヨーク郊外の自宅から車で30分。最寄りのハーツデールの駅からは徒歩10分以内。多くの日本駐在員がメンバー。マンハッタンからのハーツデールへの電車の中にはニューヨーク支店長夫人がゴルフ場へ向かう姿も。

9. 最も難しいと感じたゴルフ場 Sherwood Country Club (カリフォルニア州)

ロスアンゼルス空港から約2時間北に位置するコース。距離は長く・フェアウエー狭く・ショートホールは200ヤード近い池越え・グリーン周りのラフは伸び放題。お手上げ！同伴のシングルプレイヤーのスコアがハーフ60以上。

10. 最もプレー費が高かったゴルフ場 TRUMP National Doral Miami (マイアミ州)

トランプ前大統領が経営するマイアミのゴルフ場。コースが複数あって一番高いのはBlue Monsterコース。高すぎて別のコースでプレーする事の方が多い。全てにゴージャス。夏はシーズンオフで価格は下がる。

座談会「地域の会」で気楽に新しい交流を！！

令和5年9月11日 アイアン・クラブ談話室にて

出席者(敬称略)

栗田敏夫（「田園都市線の会」幹事 三井物産OB）

木庭照光（「中央線の会」幹事 メタルワンOB）

田中秀一（「千葉の会」幹事 JFE建材OB）

司会 **羽矢惇**（「千葉の会」幹事 日鉄エンジニアリングOB）

羽矢 今日は新たに立ち上げ中の「地域の会」について各地域の会の幹事の皆さんがどんな取り組みをしているか会員の皆さんに紹介していただき今後のスムーズな立ち上げにつなげていきたいと思ってお集まりいただきました。



地域の会のコンセプト「近場で気楽な交流を！」

羽矢 最初に私からなぜ今「地域の会」なのか、感じているところをお話しさせていただきます。

コロナは社会生活全般に多大な影響を残しています。アイアンクラブの活動もいわゆる聴衆・観客参加型（講演、観劇など）は完全に復活し以前より企画も増えていますが、会員交流型（懇親会、囲碁など趣味の会）は回復途中です。心配なのはWEB慣れもありますが「実際に出かけて人と交流する」アイアンクラブ本来のリアルな交流のエネルギーが減ったままになっているのではないかということです。若手会員が興味を持つマンデーフォーラムのような新しい企画と並んで、交流エネルギーの復活がアイアンクラブ活性化の鍵になるのではないかと思います。首都圏も広いですし、茅場町は遠いけど隣の駅までなら出かけようという気持ちを高齢になっても持ち続けるようなそんな企画ができないかと。「近場で気楽な交流を！」というのが地域の会の基本コンセプトです。

本部で第一・二・三事業委員会が行っている事業日程と干渉しない日程設定、当該地域が対象だが他地域からの参加も歓迎する「Local but Open」というスタンスで運営したいですね。首都圏をいくつかの「地域」に区割りして、運営のお世話役「幹事団」を結成することがスタートになります。足下はその途中ですが、すでに1回目のイベントを実施した千葉の会の様子を、田中さんから紹介いただけますか。

田中 今日は所用でご欠席の矢島さんの代理です。宜しくお願い致します。「千葉の会」は最初に矢島さん・近藤さん他の4人の幹事でスタートされて、この第1回行事のあと、私を含めて4人が加わり8人幹事体制となりました。第1回は5月13日の「下総台地の歴史と里見バラ園」探訪で、この会報にレポートしていますが君島大先輩はじめ15名のご参加でした。この第1回の印象は、コース自体の魅力は勿論ですが、事前によく準備されていたこと、更に非常にオープンで気さくな雰囲気溢れた



田中さん

集いであったことです。新参の立場からどのような会かと思っておりましたが早々にその場に馴染みました。先日、新幹事を含む8人の顔合わせをして第2回は佐倉の歴史散策（10月28日）で行こう！となり、つい先日の9月9日に幹事で下見をしたところです。

区割りに関して「千葉の会」は、まずは千葉県在住と登録した会員を対象にしていますが、茨城県や都内墨東地域の会員にも声掛けしようという話になりました。千葉じゃないぞとおっしゃる方もおられるかもしれませんが、そこはオープン・大らか・どなたでも…というのがこの会の持ち味ということで如何でしょうか。対象は、千葉県70名、東京都東部30名、茨城県4名で、全員では100名くらいの方に案内を出して、勿論案内不要という方には次回以降出さないということで考えております。

地域の会の区割り

羽矢 千葉の会は「区割り」が割合シンプルなのですがほかの地域はいろいろ工夫がいろいろありますね。「中央線の会」や「田園都市線の会」はどうですか？

木庭 区割りは選挙でも揉めますからね（笑）。中央線の会は中野区以西ということ考えましたが、中央線沿線にお住まいの方は多くて、100人を超す大所帯です。武蔵野市辺りで東西に分けて2つの地域の会（中央線EASTと中央線WEST）にするつもりです。イベントはこれからですが、幹事団も7人体制になります。東西連携を保ちながら進めたいですね。



木庭さん

粟田 「田園都市線の会」も幹事団は6人体制迄固まり、第1回目の企画は10月に上野毛の五島美術館と九品仏浄真寺です。美術館関係者から創業者五島慶太さんのお話も聞かせて頂きます。区割りは都内城南地区（品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区）と神奈川県全域を考えています。

羽矢 ○○市、××区等対象地域について最初は粗くてもいいから一応決めて、HPなどで会員の皆さんへ周知して、その後は事務局の協力も貰いながら必要な修正すればいいですね。

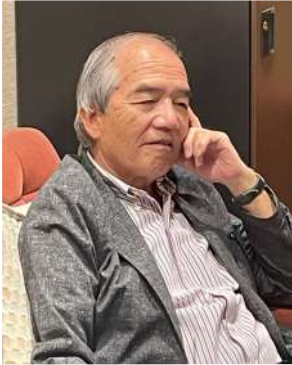
現状では中央線 EAST、中央線WEST、田園都市線（城南、神奈川県）千葉（千葉県・茨城県、都内東部）と4「地域の会」ですが、都心や埼玉県等城北地域の会員の方にどう参加してもらうか、当面はオープンで地域外からの参加も歓迎する方式で行くのがいいかと思います。

気楽に参加したいイベントを

羽矢 次にイベントの企画はどうですかね、年に3~4回できればよいと思うのですが。千葉の会ではこれまでは歴史探訪を兼ねた1~2時間のウォーキングとランチですね。

田中 歴史探訪、自然散策はテーマを持った散策ですから、幅広い会員層が各々の興味に合わせて気楽に参加しやすい企画ですね。20~30分歩いて見学、そしてまた歩くという具合ですから、普通の散歩ができる方ならどなたでも参加できます。ゆっくり散策して、地域の歴史や自然に触れ、心地よい余韻とともに皆でランチを楽しむというコンセプトです。

先日の幹事会では、このほかに会員が関心を持ちそうなテーマでのミニ卓話会や、実行上の課題はありますが地域ボランティアなどのアイデアも出ました。



粟田さん

粟田 今度の美術館巡りのほかにあるテーマに関する企業訪問という勉強型、某大学が実施するスポーツイベントに団体で参加する運動型のアイデアも出ています。

常に自前主義でなくても外部組織のイベントに「乗る」のは悪いことではないと思いますね。

木庭 市役所などで調べたら中央線沿線も結構史跡や桜の名所など多いです。事業委員会の企画に比べて地域の会のイベントは参加者の意向で途中のルート変更とか緩やか運営にしたいですね。活性化プロジェクトでも出ましたが、若手会員の参加を増やすためにも、食わず嫌いにならない参加しやすい「広

場」的雰囲気が鍵だと思いますね。

呼び掛けと幹事団の役割

羽矢 区割りが確定した後、各地域の幹事団は会員の住所など個人情報にはアクセスできませんから対象者には事務局から発信してもらう必要があります。事務局の負荷などもありますが。現役の会員は会社所在地を登録している方が多いので個別声掛けも重要です。

粟田 幹事の役割ですが、アイデア出しはやはり全員ですね。具体的イベントは8~10人体制になれば分担して過負荷にならない工夫ができます。担当したときは下見など事前準備が必要になって幹事自身が思わぬ勉強をすることにもなりそうですね。



羽矢さん

木庭 私も今度の千葉の会の佐倉散策に参加しようかと思っています。実際どのくらい歩くのか、自分たちの企画のためにもいろいろ経験しておきたいです。

多くの方に参加してもらう工夫はどうか、幹事団は常に知恵を絞らなくてははいけませんね。それから幹事も常に次世代を意識しておくことで若手会員の中から幹事が出ようになればクラブの活動全体から見ても素晴らしいことだと思います。中央線WESTでは、若手 藤井さんが幹事団の一員として汗をかいてくれています。

田中 あと幹事の重要な仕事は、やはり参加することと周りの会員や家族の勧誘ですね。常に新たな顔がいるようになれば交流の輪が広がります。

羽矢 日程と内容など地域の会の企画がほぼ固まった段階でホームページにアップして全会員にお知らせします。また会員への呼びかけは登録住所に従って事務局からお願いします。子供さん、お孫さん含め家族の参加大歓迎ですね。

参加費のレベルは2,000円~3,000円の会費で気楽に楽しめるようにしましょう。

(ほかにアイアンクラブから1,000円/人の補助もあります。)

本日は各地域の会の準備状況について情報交換ができて参考になりました。世代を通して多くの会員がいつまでもアイアンクラブの活動に参加できる企画になるように、会員の意見も聞きながら運営できたら最高だと思います。本日はありがとうございました。（完）

○地域の会幹事（敬称略・（）は出身会社）

地域の会	対象地域	代表幹事	幹事
中央線の会		木庭照光（三菱商事-マルワン） 樋口眞哉（新日本製鉄）	
中央線EAST	新宿区・中野区・ 杉並区・練馬区	織田文雄（日新製鋼）	色川史郎（三井物産） 栗川勝俊（新日本製鉄）
中央線WEST	八王子市・立川市・武蔵野市・ 三鷹市・小金井市・国分寺市・ 国立市・西東京市	佐藤博恒（日本製鉄）	木庭照光（三菱商事-マルワン） 樋口眞哉（新日本製鉄） 藤井邦之（日本製鉄）
田園都市線の会	品川区・目黒区・大田区・ 世田谷区・渋谷区・ 神奈川県	栗田敏夫（三井物産）	小谷勝彦（新日本製鉄） 塔下辰彦（伊藤忠丸紅鉄鋼） 富樫和久（住友商事） 森脇亜人（神戸製鋼所） 山内卓（三井物産）
千葉の会	千葉県・墨田区・江東区・ 江戸川区・茨城県	矢島勉（JFE）	内田俊介（三菱商事） 及川毅（住友商事） 国峰淳（新日本製鉄） 近藤裕行（新日本製鉄） 田中秀一（JFE建材） 羽矢惇（日鉄エンジニアリング） 山田清實（伊藤忠商事）

（注）中央線の会（EAST・WEST）は、木庭照光・樋口眞哉幹事が共同代表幹事として連携を図ります。

「地域の会」に関するご意見や問い合わせは事務局をお願いします。

☆賛助会員企業の横顔☆

株式会社シマヤ 協力：鉄鋼新聞社

シマヤ（本社・兵庫県姫路市思案橋、社長・高島隆三郎氏）は化学工業薬品・試薬・肥料販売を販売している。

創業は400年以上前の1617年（江戸初期の元和3年）。漁業や海運業で栄えた姫路市飾磨の魚問屋から商いをスタートした。順調に事業を成長させ、姫路藩の御用商人として一帯の500人近い商人や漁師をまとめる有力問屋となった。その後、幕末には綿花栽培有機肥料で所謂干鰯の卸売業に業容を拡大。

明治に入りイギリスの産業革命により国内綿花が競争力を失うとともに、事業転換を図り銀行、紡績会社の設立、山陽鉄道（現JR山陽線）への出資など資本家として再出発した。

戦後の農地改革により集積していた田畑約30万坪を失うという危機に陥ったこともあったが、幸い親族が経営する多木製肥所（現多木化学）の肥料の特約店として再出発。加えて肥料原料である硫酸やアンモニアなど化学薬品の販売を開始し、地区電炉メーカーを中心に販路を拡大していった。

現在、兵庫県の播磨地区を中心に化学工業薬品、分析試薬、理化学機器、肥料、農薬および理化学機器の販産業や製造工程で発生した廃棄物（廃酸、廃アルカリ、廃試薬など）の処理といった幅広いプラットフォームでモノづくり産業の下支えをしている。高島社長は「当社は播磨工業地帯の化学工業・製鉄業・エネルギー産業の大手企業がユーザーであり、今後も共に発展していきたいと考えている。」とする。

拠点は本社と網干営業所（姫路市大津区）の二拠点体制。従業員は20人。今3月期の売上高は約20億円を見込んでいる。「今後もシマヤの取り扱う商品群を通して、農業部門では肥料・農薬・緑化事業に、工業部門では研究開発から製造工程の合理化・効率化・品質管理・環境保全などモノづくりの発展に寄与していきたい」（高島社長）。



「賛助会員企業の横顔」について

アイアン・クラブの活動は、多くの賛助会員の協賛金に支えられています。

賛助会員企業の事業や特色などをシリーズで紹介していきます。

本シリーズにあっては、鉄鋼新聞社、産業新聞社にご協力を頂いております。

☆賛助会員企業の横顔☆

オーミインダストリー株式会社 協力：産業新聞社

オーミインダストリー（本社＝大阪府中央区、小八木紳次社長）は、薄鋼板や厚鋼板、建設用鋼全般の輸出入全案と技術供与を行う鉄鋼商社。その範囲はインド、西南アジア、アフリカ、中東、中南米と幅広く、新たなサプライヤー発掘に努めながら、世界各地と日々取引を行っている。



本社（大阪府中央区）

同社は経済発展の著しい国をメインに新規開拓を図っているのが特徴。複数の国内大手鉄鋼メーカーを仕入れ先に持ち、90年代には、当時存在した鉄鋼メーカー5社全てと取引を行っていたことも。製品の輸出はもちろん、ロジティクス・エンジニアリングサポートも欠かさず、ユーザーにとって重要な存在となっている。

始まりは1950年。近江産業の国内鉄鋼専門問屋として貿易部門が発足した。タイや東アフリカ、西アフリカ向けに亜鉛鉄板を輸出したほか、ナイジェリアにG Iプラントの輸出と原板輸出も開始。72年にはスリランカで亜鉛めっき鋼板製造の合弁会社を設立。同会社向けのめっき原板の輸出も始めた。この後も他国で工場の創業を行っている。

76年、オーミインダストリーとして分離独立。84年にはインド向けのG Iライン輸出とめっき原板の輸出に関し、国内鉄鋼メーカーの窓口商社となった。

90年、現会長の小八木克彦氏が代表取締役社長に就任。2003年に東京営業所を開設した。

12年にはインドに現地法人OHMI.INDUSTRIES.ASIA.PVT.LTD.を設立した。輸出事業はもちろん、自社の拠点拡大にも努めた。



（左）岩橋惇氏（元川崎製鉄常務）
（中央）ARYA会長（JBMグループ）
（右）小八木会長

2020年、克彦氏の息子である紳次氏が新たに代表取締役のバトンを受け取った。克彦氏は同時に現職へ就任。克彦氏、紳次氏ともに日々手を取り合いながら、事業を確実に強固なものとしている。



小八木克彦会長



小八木紳次社長

「和・夢」「挑・礎」「承・継」――。いずれも克彦氏が分離独立40周年、45周年の節目に社内に掲げた漢字だ。漆芸額にし、全て社員の目に入るオフィス内に飾られている。今後もこれらの言葉を胸に、ユーザーのニーズに丁寧に応える会社を目指す。

関西・中部地区運営委員会から

第63回運営委員会・地区会員懇談会を5月10日（水）、ホテルグランヴィア大阪21にて開催しました。当日は、松村光雄委員長の他、10名の会員が参加し、2023年度の事業計画について、意見交換をしました。コロナ後の状況を踏まえ、運営委員会・会員懇談会は年2回実施することにし、開催に併せて、昼食会・講演会も実施することになりました。

また文化事業としては、歌舞伎鑑賞会・文楽鑑賞会を実施することし、その案内を行うこととしました。

次回に運営委員会は、12月に開催する予定です。



運営委員会・地区懇談会に引き続き、昼食会・講演会を開きました。

講演会の講師は、「辰野・尾崎・藤井法律事務所」の辰野久夫弁護士（京都大学卒・元大阪弁護士会副会長・元日本弁護士連合会常務理事）による改正民法についての話しでした。民法の淵源から始まり、民法改正作業に加わった際の苦労話、改正となった債権法の要点を短い時間で簡潔明瞭に解説いただき、大変好評でした。

ある会員からは「法学部出身だが、いままでに一番わかりやすい講義だった」との感想もありました。関西・中部地区運営委員会としても、定期的に会合や文化事業を実施していきますので、関西・中部地区の会員の積極的な参加をお願いいたします。



ChatGPT とは

NSソリューションズ

南 悦郎*1

渡邊裕司*2

ChatGPTとは、OpenAIが2022年11月に公開した人工知能による対話（チャット）システムです。このサービスは、自然な会話ができること、またプログラミングなどの知識は不要で、手軽に試せること、などから、公開後に大きな話題を呼び、利用登録者が2か月で1億人に到達しました。その後もGoogle やAmazonなどの競合他社からも同種のサービスが提供されるとともに、新しいビジネスの可能性、規制の要否などの議論が続いています。

このサービスは大規模言語モデル(Large Language Model, LLM)と呼ばれる技術が中核となっているのですが、この大規模言語モデルにはTransformerという機械学習の技術が使われています。この技術は2017年にGoogleから発表されたのですが、もともとは、文章の英語から日本語などへの翻訳や、文章の要約のために開発されました。その後、Transformerをベースにした様々なモデルが発表されて、性能が日々向上していったのですが、とくに2020年にOpenAIがGPT-3を発表したときには、その生成する文章が人間の作ったものと見分けがつきにくいレベルに達したことから、その危険性などが議論されるようになりました。2022年には、Midjourney やDALL-Eなどの文章から絵や写真を生成するサービスが、さらに、Stable Difussionと呼ばれるモデルが発表されて、その生成力の高さが話題になりました。なお、ChatGPTには、DALL-Eの機能が内包されているので、文章から絵を生成することもできます。これらは、文章や絵などを生成できる人工知能(AI)ということで、生成AIと呼ばれています。

2017年6月	グーグルの研究者らが深層学習モデル「トランスフォーマー」を発表
2018年10月	グーグルが自然言語処理モデル「BERT」を発表
2019年7月	FaceBookの研究者らがBERTの改良版「ROBERTa」発表
2020年5月	OpenAIが「GPT-3」を公開 英語圏や研究者の間では話題に
2022年11月	対話に特化させた「ChatGPT」を公開
2023年3月	Chat-4対応の「ChatGPT Plus」を公開

機械学習には、大別して、①教師あり学習、②教師なし学習、③強化学習、の3つの種類があります。教師あり学習とは、分類や予測などにおいて「正解」を与えて学習させることによって、その「正解」を出せるように訓練します。訓練とは、内部パラメーターのチューニング（修正）を意味します。たとえば「写真に写っているものがネコかどうかを判別する」という問題においては、写真とその写真にネコが写っているかどうかの情報（ラベル）のペアを多数用意して学習させます。一方、教師なし学習とは、写真だけを与えて、「正解」を与えずに、そこに写っているものの構造などを学習させます。それによって、それが何かはわからないけど、似たようなもの同士をまとめたりするこ

(*1) 南 悦郎 NSソリューションズ エグゼティブ・フェロー システム研究開発センター所長

(*2) 渡邊裕司 アイアン・クラブ会員、NSソリューションズフェロー 鉄鋼ソリューション事業本部 副本部長

とができます。強化学習とは、ある判断に対しての「正解」は与えられませんが、その判断による「帰結」だけが与えられます。テストの結果として、点数だけが貰えるのだけど、どこを間違えたのかはわからない、といった感じでしょうか。様々な判断や行動のうち何が効いたのかはわからないけど、結果から何が効いたのかを推測して、判断や行動を改善する、といった問題です。

Transformerベースの大規模言語モデルは、インターネットにある膨大な文章データから、教師あり学習で学習します。教師あり学習の欠点は、正解データを作らねばならないことにありますが、正解データを作らずに教師あり学習を可能にしたことが、一つめのポイントです。具体的には、穴埋め問題を解くように、文章の中のある単語を隠して、残りの周囲の単語（文脈）をもとに、それが何かを当てる、という問題をひたすら解く訓練をすることで、学習をします。隠した単語はわかっていますから、ネコの写真の例のように、誰かがネコが写っているかどうかを判断してラベルを付ける必要がありません。もう一つのポイントはTransformerが並列に処理が可能であることです。これによって、膨大な計算機資源を使うことでパラメーターの数が大きなモデルが作れるようになりました。これが大規模言語モデルと呼ばれる所以でもあります。

Transformerベースの大規模言語モデルの特徴として、モデルのパラメーターの数と読み込ませる文章の量と計算の量（予算）の3つを増やせば増やすほど性能が向上することが2020年ごろにわかってきました。その後はとくに費用をどれだけかけられるのかの勝負となります。たとえば、2018年のGPT-1のパラメーターの数は1.7億だったものが、2019年のGPT-2では15億、2020年のGPT-3では1750億となりました。GPT-4のパラメーター数は発表されていませんが、1兆くらいではないかと言われています。つまり、基本的なモデルの構造は変わっていないのですが、多量の資金を投じてモデルを大きくすることで性能がどんどん向上してきたのが、ここ数年の発展の背景となります。

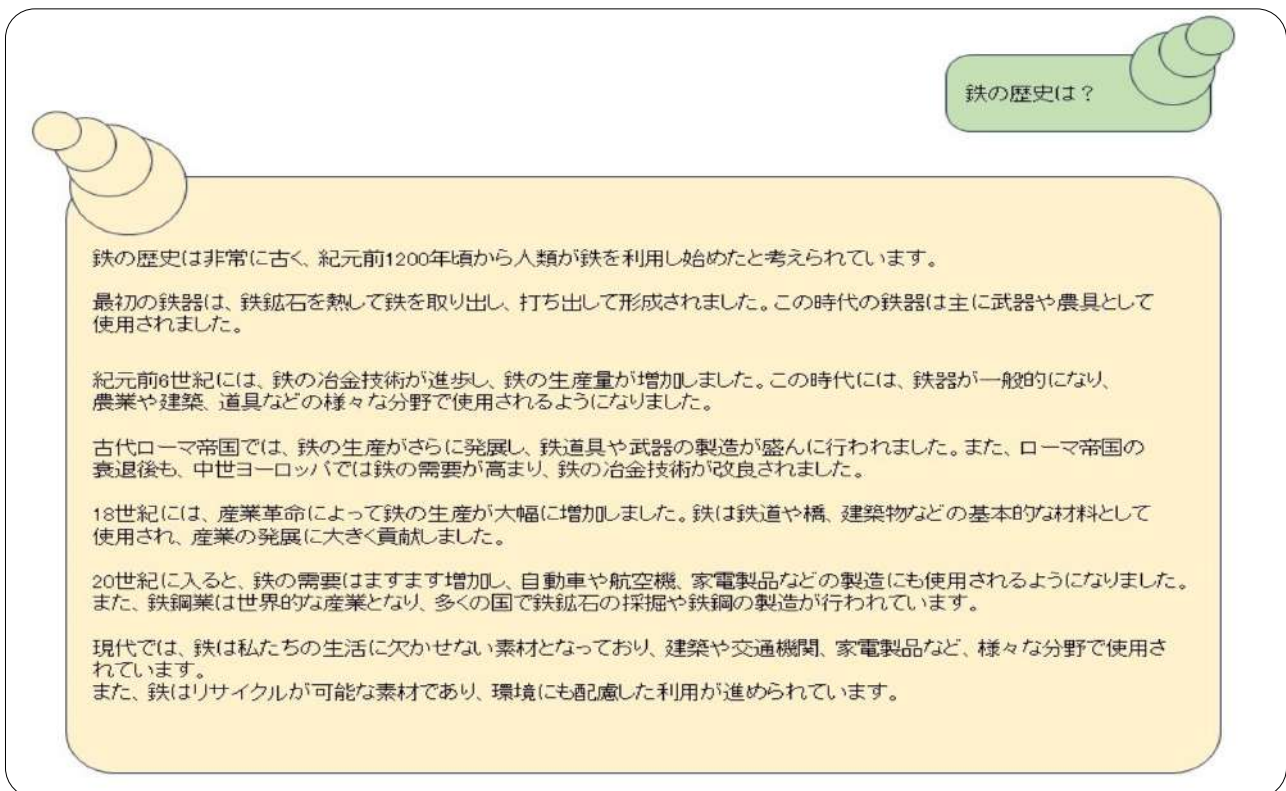
ChatGPTは、前述したように、穴埋め問題をひたすら解くことで、与えられた文章の続きを自然な形で生成する能力を身に着けた大規模言語モデルを中核としています。たとえば会話においては、それまでの会話を与えて続きを生成させれば、会話ができることとなります。ただし、これだけでは自然な会話にならなったり、不適切な文章を生成してしまったりするので、ChatGPTでは、大規模言語モデルに対して、さらに人間が書いた「適切な会話の例」の文章をもとに追加で学習させたり、生成した複数の候補のうち、より良いものを人間が選択する（あるいは人間の選択と同じ選択をするように学習させた機械によって選択する）ことによって強化学習させることで、さらに自然な会話ができるようにしています。

また、インターネットには英語や日本語だけでなく、様々な言語で書かれた文章がありますので、それらを元に学習したモデルを使っているChatGPTも様々な言語で会話ができますし、他の言語に翻訳もすることができます。JavaやPythonなどのプログラミング言語も言語の一種ですし、数式やダイアグラムを表現する言語もありますので、プログラムにやらせたいことを文章で書いたものからプログラムを生成させたり、数式や図面を書かせることもできます。また、前述したように画像を生成させることもできます。料理のレシピのように、作業手順を組み立てることもできます。文章の質としては、司法試験や医師の国家試験などで合格レベルの回答を生成できるようにもなっています。

なお、これらの生成されたものは、単なる検索の結果でもなく、また単にそれらを継ぎ合わせたものでもありません。したがって、完成度の高い自然な文章が生成される反面、内容的には正しくないものが混じることがあります。実際、論理や計算といった領域はあまり得意ではなく、誤った内容が生成されることが多くあります。これら生成された文章に嘘が混じる現象を幻視（ハルシネーション）と言います。そもそもネット上には正しい情報だけがある訳でもありませんし、古い情報もたくさん残っていますから、それらをもとに学習していることも正しくない情報が出力される原因となっています。生成される文章や会話は大変もったもたしいので、これらの生成された情報を人間が鵜呑みにするリスクや危険性も議論となっています。また、日本においては生成AIが生成したものには著作権は発生しないのですが、著作権のある絵や文章と似たものが生成される可能性があります。なお、学習時点よりも新しい情報がモデルに含まれていないので、新しいことに対する会話ができない問題については、最近はネット検索などと組み合わせる技術などで解決が図られています。

ビジネスや生活において、メールやチャット、あるいは文書など、日本語の文章を読み書きすることは不可欠です。したがって、この文章をコンピューターで扱えるようになる大規模言語モデルは、ビジネスや生活、あるいは社会自体を大きく変えるものと思います。おそらく、インターネットやスマートフォンの登場にも匹敵するインパクトがあるでしょう。一方で、前述したように解決されていないリスクや課題も多くあります。今後の技術の進化と、リスクの議論の両面において、しっかりと動向を見ていくべき技術となるでしょう。

ChatGPTを使って「鉄の歴史」を調べてみました。



鉄の歴史は？

鉄の歴史は非常に古く、紀元前1200年頃から人類が鉄を利用し始めたと考えられています。

最初の鉄器は、鉄鉱石を熱して鉄を取り出し、打ち出して形成されました。この時代の鉄器は主に武器や農具として使用されました。

紀元前6世紀には、鉄の冶金技術が進歩し、鉄の生産量が増加しました。この時代には、鉄器が一般的になり、農業や建築、道具などの様々な分野で使用されるようになりました。

古代ローマ帝国では、鉄の生産がさらに発展し、鉄道具や武器の製造が盛んに行われました。また、ローマ帝国の衰退後も、中世ヨーロッパでは鉄の需要が高まり、鉄の冶金技術が改良されました。

18世紀には、産業革命によって鉄の生産が大幅に増加しました。鉄は鉄道や橋、建築物などの基本的な材料として使用され、産業の発展に大きく貢献しました。

20世紀に入ると、鉄の需要はますます増加し、自動車や航空機、家電製品などの製造にも使用されるようになりました。また、鉄鋼業は世界的な産業となり、多くの国で鉄鉱石の採掘や鉄鋼の製造が行われています。

現代では、鉄は私たちの生活に欠かせない素材となっており、建築や交通機関、家電製品など、様々な分野で使用されています。また、鉄のリサイクルが可能な素材であり、環境にも配慮した利用が進められています。

どんなものでしょうか？

(第50回) 音楽鑑賞会

紀尾井ホール室内管弦楽団 第135回定期演奏会

紀尾井ホール室内管弦楽団(KCO)の2023年度第2回目の定期演奏会が7月14・15日両日に開催されアイアンクラブ関係23名の参加者の一人として鑑賞した。

今回の演奏会は2020年9月にKCOの第123回定期演奏会として予定されていたものがコロナ禍で延期され、演奏者も演目も当初の予定と何ら変わりなくこの程ようやく実施に至ったものであった。

当初のチラシには演奏者の紹介に「オーストラリア室内管弦楽団の芸術監督を30年以上に亘って務め、モダンにも古楽にも精通するリチャード・トネッティは、ハイドンの「ロンドン」、モーツァルトの「ジュピター」と巨匠二人の最後の交響曲に加え、キラルの「オラヴァ」、武満徹の「ノスタルジア」を組み合わせた彼らしい選曲。武満作品では自らヴァイオリン独奏も披露。自由な発想でチャレンジし続ける彼がKCOに新たな刺激をもたらします。」と書かれていた。

R.トネッティ(Richard Tognetti,1965-)は弱冠25歳でオーストラリア室内管弦楽団(ACO)の芸術監督に就任し、ヴァイオリン奏者であると同時に指揮者でもあり今回も”二刀流”の所謂”弾き振り”での登場である。尚、トネッティは豪州の人間国宝に賞された1999年以来、紀尾井ホールにACOを引き連れて4回の演奏を行っており、2003年には皇太子ご夫妻(当時)がご臨席されたとのことである。世界でも有数の音響効果を誇る紀尾井ホールで、今回ACOと姉妹関係ともいえるKCOとの初演を何よりも楽しみにしているとの談話がビデオメッセージで語られていた。また、トネッティはバロックから現代音楽まで幅広く取り上げ、ACOの演奏スタイルはチェロ以外は全ての奏者が立って演奏し配置も曲によって変えるという自由な発想で知られているとのこと。

今回のプログラムは前半、後半ともそれぞれ2曲であった。いずれも1790年前後の曲と1987-1988年の作品の抱き合わせで、年の差略200年というものであった。チラシに見た「モダンにも古楽にも精通するR.トネッティ」ならではのプログラムというところであろうか。

ステージには椅子が4脚だけ並んで置かれ、あとは高く伸ばした譜面台が散見される状態から演奏は起立して行われるものと予想がついた。この起立した演奏は延期された2020年9月予定の演奏会で、代わりに開催された指揮者不在の代替プログラムによる演奏会(アイアンクラブ第182号会報記載)で経験したものであった。ただ今回は弦楽器パートのみとはいえチェロ4名を除く全員の起立演奏で規模は2020年の代替コンサートより多少大きい印象であった。

(1) ヴォイチェフ・キラールWojciech Kilar (1932-2013年)

Orawa (《オラヴァ》～弦楽オーケストラのための～) (1988年)

筆者には作曲家はおろか曲名も初耳で全く”土地勘”のないままの鑑賞となった。当日配布されたパンフレットによれば、キラールはポーランドの現代音楽・映画音楽の作曲家でF.コッポラ監督の「ドラキュラ」やR.ポランスキー監督の「戦場のピアニスト」の音楽で高い評価を受けたとあった。また、題名の「オラヴァ」はポーランドとスロバキア国境地域にある地名で独自の言語や伝統音楽をもつ地域とのこととあった。

曲はトネッティのヴァイオリン演奏から始まり、”タータラタララ”と口ずさめるような単調なテーマ

が何回も何回も繰り返される。その繰り返しの中で、演奏のパート参加が広がったり、狭まったり、テンポが変化し、音量の増減があったりと、恰も”音色のデパート”といった感がして楽器の生演奏の醍醐味を体験するものであった。テーマの繰返しはラベルの「ボレロ」を思い起こさせるものでもあったが、「オラヴァ」は弦楽器のみでの演奏で独特の味わいを楽しむものでもあった。

(2) ヨーゼフ・ハイドン Joseph Haydn (1732-1809年)

交響曲第104番ニ長調 Hob.I:104 《ロンドン》 (1795年)

休憩でもないのに「オラヴァ」の演奏を終えると全員ステージを去り、譜面台の位置が一部移動され管楽器パート用の設えも成された。KCOの登場だが、再び管楽器パートまでもが全員起立。交響曲をオーケストラが起立しての演奏を聴くとは思ってもよらないこととなった。室内管弦楽団だからこのことかと想像。

ハイドンは数多くの作品を残し交響曲も104曲とモーツァルトでさえ41曲、ベートーヴェンでも9曲であるのに比べ驚くばかりの数を残した。その割に筆者はハイドンの曲に接した覚えは余りなく、今回初めて1曲通しての鑑賞となった。因みに、ハイドンは17歳から77歳の生涯を殆ど宮廷音楽家として過ごしたが、49歳の1781年から10年間、モーツァルトが死去するまで親交があり、またベートーヴェンを1792年に訪ねウィーン



撮影：ヒダキトモコ

に呼び寄せるなどしてベートーヴェンが生涯ウィーンで過ごすきっかけを作ったことなどを知り、ハイドンの存在と影響力の偉大さに思い至った次第である。

ハイドンは宮廷を離れ自由に活動できた時期に二回ロンドンを訪れ、交響曲第93番～第104番を作曲したところからその全曲が「ロンドン交響曲」と呼ばれたが、後世になって中でも第104番が「ロンドン交響曲」と呼ばれることとなったそうである。

第1楽章は明るく迫力溢れるものであり、それが第2楽章で穏やかで丸みを帯びた曲調になり、時折り管楽器の雷鳴を思わせるアクセントが入り、第3楽章で踊るような軽快なリズムが展開され、第4楽章では宮廷の華やかな世界でアスコット競馬を想起させるような忙しく、慌ただしいお祭り気分を感じさせ、派手でダイナミックな一曲であった。その勢いで聴衆から満場の拍手で、休憩に入った。

休憩中もステージでは椅子が運び込まれる様子はなく、次の演目はさておき、最終演目の「ジュピター」は起立演奏というわけにはいかないであろうと思いつつ後半の席に着いた。

(3) 武満 徹 (1930-1996年)

ノスタルジア～アンドレイ・タルコフスキーの追憶に (1987年初演)

武満 徹の名前は筆者も予てから「世界の武満」として聞き及んではいたが、今回の鑑賞会が初めての視聴体験となった。この選曲もバロックから現代音楽まで幅広く取り上げるトネッティならではの

ものと思え、自らヴァイオリンのソロ演奏を行うプログラムで貴重な鑑賞の機会に思えた。

ただ、現代音楽は耳にする機会が少ないこともあってか筆者には馴染みが薄く、また曲名を見てもピンと理解できるものが少ないように思われる。この曲も然りである。会場で配布されたパンフレットの解説によれば、タルコフスキーという武満が共鳴するロシアの映画監督の作品で「ノスタルジア」というのがあり、自由を求めて亡命し世界の救済を願いながらも故郷への郷愁を抱く主人公は監督自身を投影したものといわれ、武満はタルコフスキー監督の映画に自身と近い音楽性を感じていたと記されていた。この映画発表の2年後にあった監督の死去に武満は衝撃を受けこの作曲に至ったという。



撮影：ヒダキトモコ

演奏は着席のチェロを除き弦楽器パート約30名が全員起立演奏で、この形態は筆者の想定内であった。曲はトネッティのゆっくりと厳かなソロの演奏から始まり、全曲約15分間一貫してこのゆっくりテンポで終始する。この曲は武満が前衛音楽の域を過ぎ現代音楽を主に作曲した時代の作品と言われるものだろうである。前衛・現代その両者の区別はさておき、いずれにせよ筆者にとり両者に大きく共通すると思われることは、メロディー（旋律）が無いこと、音が上がったら下がるというような起承転結の動きが

なく不協和音を多く交えながら線香花火のように上がったらかみどころ無く消えるという2点である。

この曲も一言で表せば「幻想的で幽霊を想起させ、深刻だがそれが奇妙」というものであろうか。総じていえば、「よく分からない。鑑賞のポイントを知りたい。」ということになる。ただ、そうであってもKCOの演奏は生きた人間が目の前で弾いていることから音の組合せや流れが伝わるように見え、その体験は楽しいと思えた。そして、間の取り方、音の出し方などいずれも難しい曲を見事に演奏するのを視聴できることは嬉しい出来事であった。

因みに、曲の最後は一旦静寂の間を置いて懐かしい故郷を想起させるようなメロディーたっぷりの曲で、恰も死の世界から現生に戻ったかのような安堵感をもって演奏が終了した。

(4) W.A.モーツァルト Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791年)

交響曲第41番ハ長調 K.551 《ジュピター》 (1788年)

この曲はよく知られている通りモーツァルト最後の交響曲で、この前にある第40番と第39番と併せて同年に作曲され「後期三大交響曲」と称されている。

この演奏に管楽器パートが10名程加わり50名程の起立演奏となったが、トネッティの室内管弦楽団の演奏は曲目に拘わらず起立演奏に徹しているものと、この時点で思うに至った。前の演目の深刻な曲調の影響が残ってその反動なのか、「ジュピター」は出だしから単純にウキウキし安心感を覚えた。KCOも歯切れよく躍動感に溢れて自由に楽しく演奏しているように見受けられた。

それにしても、KCOが「ジュピター」まで起立演奏をするとは思ってもよらなかったが、着席しての演奏よりもむしろ生き生きとした迫力ある演奏であるかのような印象を得た。これもR.トネッティを足掛け3年待った甲斐があったということであろうか。

トネッティには聴衆の拍手喝采は云うに及ばず、KCO団員からも拍手が送られトネッティとの共演を楽しめた様子が伝わってきた。

(福田 修一・記)

(第51回) 音楽鑑賞会

紀尾井ホール室内管弦楽団 第136回定期演奏会

2023年9月22日(金)夕刻、連日の酷暑に一瞬の休息というにはやや激し過ぎる雨のなか、紀尾井ホールに向かった。紀尾井ホール室内管弦楽団(KCO)の第136回定期演奏会である。アイアン・クラブから16名(22日・23日)の関係者の方々が参加される。

この日の演目は、2022年4月よりKCOの第3代首席指揮者に就任しているトレヴァー・ピノック(Trevor Pinnock, 英・1946~)指揮によるメンデルスゾーン(Felix Mendelssohn Bartholdy, 独・1809~47)の宗教曲特集である。こうした、いわば「堅苦しい」と思われる演目にもかかわらず、当日の会場はほぼ満席である。しかし、それもその筈かも知れない。当日はKCOの演奏に、豪華な歌唱が加わるのだ。ソリストとして、ソプラノI/ラウリーナ・ベンジューナイテ(Lauryna Bendziunaite, リトアニア)、ソプラノII/澤江衣里(Eri Sawae, 日)、テノール/マウロ・ペーター(Mauro Peter, スイス)、そして冨平恭平(Kyohei Tomihira)指揮による新国立劇場合唱団。「これは聴き逃せない」と思う音楽ファンが多いのもうなずける。

まず、プログラムを紹介しておこう。

* オラトリオ《聖パウロ》op.36 MWV A14 ~ 序曲

* 詩篇第42番《鹿が谷の水を慕うがごとく》op.42 MWV A15

— 休憩 —

* 交響的カンタータ(交響曲第2番)《讃歌》変ロ長調 op.52 MWV A18



開演すると、まず白い衣装の女声・黒い衣装の男声の合唱団が舞台の背後に入場する。次いで、全員黒い衣装のKCOのメンバーが席に着く。この日のコンサート・マスターはアントン・バラホフスキー(Anton Barakhovsky)である。そこに、身体にぴったりの黒の衣装のピノックが颯爽と登場する。彼はいつも微笑みを絶やさない。

最初の演目は、オラトリオ《聖パウロ》(1836年作曲)の序曲で8分ほどの演奏である。解説書などをみると、オラトリオ(伊、oratorio)とは、聖譚曲と邦訳される「宗教的な題材の、独唱・合唱・管弦楽で劇的に構成される楽曲」とある。演奏が始まる。荘重だが流麗な出だしに続き、管楽器が全体を支えるように響き、次いで弦楽器の美しい音色がそこに融合し、迫力と優美さを同時に感じさせる。これは、この曲の序曲であると同時に、当日の演奏会全体の「序曲」となっている。

次の詩篇第42番(1837年作曲)であるが、これも解説書によれば、「詩篇(英、psalm)」とは「聖書に収められた、神への賛美・感謝・祈願を歌う宗教詩、あるいは祈祷文」といったものである。この作品は全体で7曲から構成されており、25分ほどの演奏である。合唱による優雅な調べで始まり、次いでオペラを思わせるソプラノの独唱が流れる。これに女声合唱が加わり、次第に劇的な感興が高まってくる。中盤では管・弦楽器のファンファーレ風の印象的な旋律が響き、後半に入ると男声の合唱・テノールの独唱・カルテットが加わり、恰も女声の合唱・独唱との掛け合いを思わせる見事な歌唱の世界を創り出す。そして最終の第7曲では、女声・男声、そしてKCOが一体となって、祝祭的な迫りに満ちた終結を迎えるのである。会場からは、この感興に酔い、また後半の演奏への期待から、大きな拍手が暫く続いた。

休憩を挟んで後半は、交響的カンタータ《讃歌》である。これも説明書の助けを借りると、カンタータ（伊、cantata）とは「器楽伴奏つきの声楽曲」ということのようにであるが、「教会カンタータ（ドイツ・プロテスタントの教会音楽）」は先に触れた「オラトリオ」と区別し難いともいわれる。この《讃歌》は、グーテンベルク（Johannes Gutenberg, 独、ca.1400～1468）の活版印刷術発明400周年を記念する祭典のためのものとして、1840年にライプツィヒ市からの委嘱で作曲された。全10曲で構成されており、演奏時間68分の大曲である。

ピノックが指揮台に上る。その包容力のある人柄が会場を和ませる。祝祭的な、馴染み易い旋律で演奏が始まる。リズムカルな進行が心地よく、また管楽器の重厚な響きに支えられた旋律が、聴く者を包み込む。ピノックの力強い指揮ぶりが印象的である。前半は、合唱に女声の、そして男声の独唱が加わり、実に美しく、また切れのよい歌唱を聴かせる。何やら背筋の伸びる思いすらする。中盤では、女声の合唱に男声の独唱、そして女声の重唱と、美しい歌声を堪能させる。男声の独唱がオペラ風の強い劇的な印象を与え、そこに女声の独唱も加わり、声量一杯の迫力ある歌の世界を繰り広げる。後半に入ると、合唱が一段と強く響き、管弦楽の演奏も一体となって、曲の終結に突き進んでいく空気を感ずる。第8曲は無伴奏の合唱で始まり、そこに管弦楽が加わる。特に低音部の響きが荘厳さを醸し出す。そして終結では、女声・男声の大合唱、そこに作品冒頭に聴いた旋律がKCOにより力強く奏でられ、ステージと会場が一体となった陶酔をすら感じさせる。筆者は、突然、少年時代に読み耽った冒険小説の最後によく出ていた「大団円」という言葉を思い出してしまった。この終結の曲は、まさに「大団円」といいたい迫力と、或る種の爽快感を味わわせてくれた。そして、何やらそこはかたなく、勇気づけられる思いすらした。

後日、偶々、知人で大学教授の音楽家と話す機会があった。「先生、宗教音楽というのはどんな姿勢で聴けばいいんですか？」との筆者の質問に、その人物は、ちょっと困った顔をしたあと微笑して「あなたはクラシック音楽の専門研究者ではないんだから、『音』として楽しめばいいですよ」との言。

そうなのだろう。だから、あの演奏に、会場があれほど興奮したのだ。ピノックは幾度となく会場の歓呼に答えてステージに戻ってきた。筆者も、拍手を止められなかった。

宗教音楽を「堅苦しい」などと先入観をもって聴く必要など全くないことを、体験として感じさせてくれる、感銘深い演奏であった。 (保倉 裕・記)



音楽鑑賞記

～ 参加者からみたコンクール 2023年 ～ (9月16日開催)

佐藤 麻里 / B部門入賞



今年も「国際アマチュアピアノコンクール・本選」が紀尾井ホールで行われた。残暑というより酷暑と言った方が実感に近い当日、多くの人々が集った。コロナ以降課せられていた制限が取り払われ、参加者（コンテスト）と聴衆の交流も以前の通り。休憩時間の会話の楽しみや笑い声も復活し、会場は華やかな熱気に包まれた。

このコンクールはアイアン・クラブとも関係の深い日奥文化協会が2006年から開催し、今年で18回目となる。参加人数（一次予選時点）はA部門（バッハの課題曲有、暗譜必須）38名、B部門（自由曲のみ）60名、シニア部門（55歳以上）26名、計124名。本選では、A部門10名、B部門12名がファイナリストとして最終演奏を行い競い合う。ここまで辿り着くにはどのような道りを経てきているのだろうか。

アマチュアのコンクールということで、コンテストは音楽以外の分野で働いている人が多い。会社員、教師、医師等々。IT企業に勤め、夏が納期のプロジェクトを指名され、今年は参加できないという人もいるし、応募後出張が入りキャンセルせざるを得ない人もいる。仕事や家庭と折り合いをつけながら、限られた時間で最大限の練習効率を指向するのは誰しも同じだろう。最初に頭を悩ますのは曲の選択だ。好きな曲を心のままに選ぶ人、得意分野（例えば華麗なる技術を披露するヴィルトーゾ系）で専門性を高める、企画（アニヴァーサリーの作曲家）を楽しむ、新規開拓（普段聞かない作曲家や曲）を探求する等々。

曲が決まれば後は練習するだけなのだが、ピアノをもっている人も、もっていない人もいる。もっていても、防音室がなければ日中働いている人は夜間に弾くことができず畢竟週末のピアニストになる。また、ピアノは大きな楽器なので自分のピアノをコンクールに持ち込めないし、よしんば同じピアノでも空間（ホール）が異なれば音響ががらりと変わる。練習と本番の大きな環境変化。コンテストは皆同じ条件なので不公平ではないが、その場のピアノとホールの状況で、自分の音を弾きながら聴いて評価し、かつ即座に調整して演奏に反映することが求められる。本番では心理的プレッシャーも強く、頭ではわかっているのに実行するのは難しい。普段から、ホールでの響きを想像しながら練習するしかない。

さてその本番だ。一次と二次予選は杉並公会堂小ホールでベーゼンドルファー製のピアノを弾く。世界三大ピアノと言われるブランドは、スタインウェイ（米国）、ベーゼンドルファー（奥国発祥、現在ヤマハ傘下）、ベヒシュタイン（独国）。このコンクールではその内の2ブランドのピアノを弾くことができる。ベーゼンドルファーは「創業以来約190年という長い歴史のなかで5万台程度しか生産されていない芸術色の強いピアノ」。使用木材の85%が響板でも使用されるスプルスという響きの良い木材で、いわば「ピアノ全体が共鳴する」（「GrandGallery東京」HPより）。また、このホールのmodel290インペリアルは、通常の88鍵に加えて9鍵低音が拡張され完全な8オクターブを実現。追加の倍音、共鳴を作り出すことができる。見た目が9鍵全て黒鍵で、初めて弾く人は慣れずに気になるが、上手く鳴らせられればオーケストラのような多彩な音が響く。コンテストはこのピアノ相手に一次、二次予選と進んでいく。

そしてついに本選。

紀尾井大ホールのピアノはスタインウェイD型。同ブランドの中でも最高峰のコンサート用ピアノと言われている。スタインウェイは特許数も多く技術の集積と評する人もいる。様々な特長があるが、一点挙げると、リム（側板）は14～20枚を熱や蒸気を使わず一気に一体成型する独自製法を早くから開発。これにより「高音は繊細でいてクリア、低音は力強く温かみのある響き」を可能にしたという（ニューズウィーク日本版2019.10.17.南隆太氏）。イミニタブルトーン（比類なき響き）と表現される明るく華やかな音色を、音響素晴らしい紀尾井ホールで奏でることができたら……。多くの人達がこの強い「憧れ」に衝き動かされてコンクールに参加しているのではないだろうか。

曲目に目を向けてみると、本選のファイナリストは22名だが、昨年と同様に重複することなく多様な曲が並び、まるで音楽祭のようだ。今年没後10年という私達と近い時代を生きてきたフランスの作曲家デュティユーやダマーズを取り上げた演奏者達、39歳で夭逝した作曲家尾高尚忠の曲で日本固有の響きを表現した方も。また、多彩なのは曲目だけではなく演奏者の顔ぶれも。新しい参加者による刺激もあれば、長く参加しているうちに定年退職され自分が今まで弾かなかった分野の曲に新しくチャレンジしているという人もいる。

音楽祭の最後の盛り上がりは、賞の発表と審査員の講評だ。

2023年コンクールの優勝者は、

- ・ A部門第1位 高溝正さん
（リスト メフィストワルツ第1番「村の居酒屋での踊り」）
- ・ B部門第1位 阪下力さん
（ショパン 舟歌Op.60）
- ・ シニア部門（この日は表彰のみ）最優秀賞 永田行代さん
（ドビュッシー 仮面）

であった。超絶技巧のこれらの曲を、時に楽しそうに、時に激しい情熱を込めての演奏は圧巻だった。

表彰式の最後は、今年も審査委員長の北川暁子氏（東京藝術大学名誉教授）から講評をいただいた。「『演奏出来ているはず』ではなくもっと曲と向き合う」「家で練習するのとホールでは音の響きも違うでしょうが耳を鍛えるのは自分」。自らを律していらっしゃるプロからの、厳しくも期待を込めたメッセージは音楽を愛好する人達にしっかり伝わただろう。



（上）A部門第1位の高溝氏
（下）B部門第1位の阪下氏

このコンクールの魅力は、弾く側と聴く側の音楽愛好家、もっと曲を探求する楽しみを伝えたい審査員、そしてこれらの多くの人達が垣根なしに音楽の喜びを共有して欲しいとの主催者側の思いが伝わってくるころだ。尚、今年の実賞者演奏会が2023年12月3日杉並公会堂小ホールで行われる。本選の興奮を音楽会という場で味わっていただくことができるので、ご興味をもっていただいた方は是非お立ち寄りいただければと思う。



ミュージカル『ウエスト・サイド・ストーリー』鑑賞会

去る7月、アイアン・クラブとしては初めての企画となったブロードウェイ・ミュージカル『ウエスト・サイド・ストーリー』鑑賞会には、18日に38名、22日に40名と多数の方が参加された。当初は両日とも確保していた席は30席であったが、さらに追加して席を用意したということから人気の高さを伺うことができる。アイアン・クラブの会員の方には、アメリカやロンドン駐在中にこの作品だけでなく、本場のミュージカルを堪能された方が多くいらっしゃるのではないだろうか。

『ウエスト・サイド・ストーリー』は多くの移民たちが暮らすNYのウエストサイドを舞台に『ロミオとジュリエット』を主題にした若者二人の禁断の愛の物語を数々の名曲とダイナミックなダンスで描いたミュージカルである。スティーヴン・ソンドハイムが作詞、レナード・バーンスタインが作曲して生み出した『Maria』『Tonight』『America』『Cool』『I Feel Pretty』などの名曲は枚挙に暇がない。下に掲げる写真は『Cool』の一場面であるが、フィンガースナップとシンクロする音楽に静と動を併せ持ったダイナミックなダンスを映画で初めて見た時には、音楽とダンスが融合した文字通りの〈カッコ良さ〉に子どもながらドキドキしてしまったものだ。ブロードウェイで1957年に初演されて以来、65年たった今でもミュージカルの最高峰と言われている作品であるから人気の高さにも合点がいく。



(C)johan persson

1949年に脚本を依頼されたアーサー・ロレンツがバーンスタインに持ち掛けたアイデアの当初のタイトルは『イーストサイドストーリー』、ユダヤ系移民が多く暮らす東部地区を舞台にユダヤ人少女とアイルランド系アメリカ人少年との恋愛が宗教上の理由で引き裂かれるという『ロミオとジュリエット』現代版であったが、のちの1955年に場所をウエストサイドに変更し、当時社会問題であった移民系非行少年の抗争に着目した。ポーランド系移民の不良グループ・ジェッツと新興勢力のプエルトリコ系グループ・シャックスの確執を描くというアイデアに、元ジェッツリーダーのトニーとシャックスリーダーの妹マリアの許されざる恋を重ねて描いたものである。

また1961年に映画化された作品は世界的にヒットしてミュージカル映画の金字塔となり、昨年公開されたスティーヴン・スピルバーグ監督による二度目の映画化作品は2022年アカデミー賞で作品賞含む計7部門にノミネートされている。日本での初演は1964年で、1968年には宝塚歌劇団、1974年には劇団四季で上演以来、何度も再演されている。今回の振付を担当したフリオ・モンへとセットデザインのアナ・ルイゾスは、2019-2020年にかけて上演された『ウエストサイドストーリーアラウンド東京版』でも采配を振るっている。

今回の来日公演は2012年に東急シアターオーブのオープニングを飾った作品が装いも新たに上演されるニュー・バージョンとのことであったが、あくまでも原案を担当したジェローム・ロビンスによ

る振付を忠実に再現してもらいたいというオファーのもとにロニー・プライスが演出し、ロビンスの薫陶を受けたフリオ・モンヘが振付を担当した、いわばオリジナルに近い形での再演になったということである。

振付のフリオ・モンヘはプエルトリコ出身。10代で最初の映画版を見た時に同郷のリタ・モレノがアナタ役でアカデミー賞助演女優賞に輝いたのを誇らしく思い、いつの日か自分もNYで活躍してみせると心に誓ったという思い入れの強い作品。師のロビンスによってダンスだけでなく歌や演技の重要性を認識し、自身が演劇学校で学び直したという。

セットデザインはアナ・ルイズスによるもので、舞台となるウエストサイドはポーランド移民系シャークスとプエルトリコ系ジェッツのように貧しい移民層の住む暗い色調の町であるが、そのセットの中に裕福であった白人層向けの広告、レジャーやマイホームのポスターや看板を再現して配置し、当時のアメリカに歴然と存在した格差社会のビジュアル化を試みていた。また衣装デザインのアレーホ・ヴィエッティはグループのイメージカラー、赤（暖色系）と青（寒色系）を基調とした色の設定に加えて二色が混ざってできる紫を用いて、グレー系の背景との調和とコントラストのある美しさを創出していたように思う。

何よりこの作品は全編を通じてバックダンサーを使わず、演者はダンスだけでなく歌も演技も同じレベルでこなさなくてはならない、すなわち演者はオールマイティで非常に高度な能力を要求されている。また登場人物全員に名前があり、セリフが少なくても皆が独立したキャラクターであるということが当時のブロードウェイでも斬新な手法であった。それまでのミュージカルは役割が分かれていて、歌専門、踊り専門のように分業されていたので役名がない演者も多かったそうである。

その観点から見ると今回の上演に際して厳しいオーディションを勝ち抜いてきたであろう若手演者たちの能力の高さには驚きを禁じ得ない。ダンスや演技力だけでなく難曲の数々を堂々と歌いこなし、オーケストラの生演奏と相まって全編にリアルな迫力と重厚感、そこから生まれる感動があった。例えば『Tonight』のリプライズ（繰り返し部分）にみられる、ミュージカルやオペラに特徴的な、複数声部を同時並行してまとめる手法の部分では、レベルの高い歌唱と演技に物語の緊張感がますます高まっていき、聴いているこちらまで高揚した気分引き込まれた。

さらに〈二人が出会ってひと目で恋に落ちるなんてミラクルで非現実的〉と頭では思いながらも、全編が歌と音楽で綴られるオペラとは異なり、ミュージカルでは歌（音楽）と台詞が織り交ざることによって生まれるリアリティの効果によって、心の中では深く共感して（いつか私にも“Something's Coming”などと妄想し）、自分がマリアの気持ちになって喜び、歌い、そして涙してしまった。「セリフから歌への移行の難しさや不自然さなどはミュージカルでは必ず取りざたされる難点なのであるが、この作品ではそれをスムーズに全く違和感なくクリアしている」と人気ミュージカル俳優の井上芳雄氏は語っているが、この点もWWSが人を惹きつける魅力の一つであろう。

今回東京での上演が行われた東急シアターオーブという渋谷駅前の大劇場には、高価なチケットにも関わらず若い方が大勢来場していて、場所柄というだけではなく日本でブロードウェイ・ミュージカルの人気を改めて思い知らされた感がある。ミュージカルは一昔前の大衆芸能、商業演劇といった範疇を超えて、もはやオペラ（ワグナーがいうところの総合芸術 Gesamtkunstwerk）のようなハイカルチャーと区別されるものではなく、その芸術性は今後も高められていくであろうことは間違いない。次回WSSが来日して上演されたらどういったものになるのかを大いに期待させる公演であった。

（仲村 清美・記）

(第105回) 歌舞伎観劇会

秀山祭九月大歌舞伎 二世中村吉右衛門三回忌追善
2023年9月7日(木)・9日(土)

九月大歌舞伎は、二世中村吉右衛門さんの三回忌追善興行のため、吉右衛門さんの所縁の演目が昼夜ともに上演されました。

今回拝見した昼の部の構成は、

- 一. 「祇園信仰祭礼記」では豪華絢爛な歌舞伎らしい彩りのお芝居を、
- 二. 「土蜘蛛」で能を歌舞伎化した面白さを、
- 三. 「二条城の清正」で台詞術が楽しめ、且つ成立した時代も江戸時代、明治、昭和と時代の好みも感じられる演目となっております。

演目説明に先立ち、今回歌舞伎初心者として観劇した感想を少々述べさせていただきます。

「伝統芸」と云われる故に各種のしきたり、セリフ回し等々難解な部分も多いかと心配しましたが、実際の観劇の時には上演中に使える「イヤホンガイド解説」に大いに助けられました。上演と同時並行で筋書き、音曲、語り、所作の説明が観劇を邪魔する事なく明瞭、的確にイヤホンから流れ、初心者でも十分に観劇を楽しむことが出来ました。歌舞伎初心者の方々も、是非アイアンクラブのこの催事を活用され是非一度お出掛け下さい。伝統芸の歌舞伎は一見の価値大いにありと存じます。



撮影：鍋島徳彰

演目説明

一、祇園祭礼信仰記 金閣寺

このお芝居は歌舞伎を代表する悪人・松永大膳を中心に2つのお話しが進行します。一つは松永大膳が天下を狙って、將軍足利義輝の母・慶寿院を金閣寺に幽閉するストーリー。もう一つは、夫がある雪姫に横恋慕し、夫と共に雪姫をとらえて金閣寺の天井に龍を描くか自分の言うことに従えと迫ります。雪姫は大膳を父の仇と知って切付け、逆に桜の木に縛られ、夫の狩野介直信は処刑場に連れていかれるストーリーです。桜が咲き誇る金閣寺を舞台に、慶寿院の救出と雪姫の危機この二つを軸に展開します。慶寿院救出には、此下東吉（羽柴秀吉がモチーフ）が登場します。主人の小田春永（織田信長がモチーフ）を見限ったと言って、大膳に奉公を願い、知恵を試されます。大膳は井戸に碁笥を投げ込み、それを手を濡らさずに取れと言うのです。一方、縛られた雪姫は雪舟の孫という血筋を使って見事な奇跡を起こします。絢爛な金閣寺を背景に、大きさのある悪役の大膳、颯爽たる武将の東吉、歌舞伎の代表的な三大姫の一つである雪姫の物語が繰り広げられます。



『金閣寺』松永大膳
平成21年5月 新橋演舞場

松永大膳は、この秋に人間国宝に認定されることが決まった中村歌六さん。そして、大役の雪姫には中村米吉さん（中村兎太郎さんがダブルキャスト）、此下東吉に中村勘九郎さん、狩野介直信は尾上菊之助さん、慶寿院は中村福助さんが演じ、華やかな演出に負けない豪華な面々が揃った舞台でした。

二、土蜘蛛

このお話しは、土蜘蛛の精が日本を魔界にしようと企み、英雄として知られる源頼光の命を狙うというものです。場面は源頼光の館。家来の坪井安昌が病の頼光を見舞い、侍女の胡蝶が薬を届けにきます。胡蝶は頼光の求めに応じ、京都の都に近いもみじの名所の様子を舞って見せます。やがて比叡山の僧・智籌が頼光の病を治すために祈祷をしにやってきて、頼光の希望に応じ、諸国修行の物語をします。さらに、病平癒の祈祷をするうちにその本性を見咎められ、本性を表し頼光に襲いかかります。頼光は家宝の膝丸で切付け、土蜘蛛の精は姿を闇にくらませながら去っていき、という筋書きです。

この演目は能の土蜘蛛を元につくられており、舞台や衣装も能に準じていますが、侍女・胡蝶の舞や僧・智籌の諸国修行の物語は歌舞伎のオリジナルで見どころとなっています。また、花道からの影のような出にも注目です。通常、主人公の登場で花道を照明で明るくするところ、この作品では土蜘蛛の精の不穏さを表現するためにあえて照明を使いません。土蜘蛛の精を演じる俳優さん（今回は松本幸四郎さん）は「気がついたらそこにいた」という登場の仕方を大切にしているため、大向うという掛け声も掛けないようにし、花道の幕も音を立てずに開けるなど様々な工夫がされているとのこと。千筋の蜘蛛の糸は大変見応えがあり、海外のお客様も大変楽しんでいらっしやる様子でした。今回は席が花道脇であったこともあり、この土蜘蛛の精の不気味な表情をじっくりと堪能させて貰いました。



【土蜘蛛】僧智籌実は土蜘蛛の精
平成17年1月 歌舞伎座

三、二条城の清正

二条城の会見と呼ばれる二条城における徳川家康と豊臣秀頼の対面という史実を題材に、加藤清正の忠誠心を描いた活歴（史実を重んじた劇）です。舞台は淀川をゆく御座船。清正と秀頼は家康との対面を終え、大阪城へ帰るところです。夜陰に紛れて、秀頼の命を狙うものを追い払った清正は、早く夜が明けることを願い、対面が無事に終わったのは亡き秀吉や神仏の加護のおかげと語ります。そこへ秀頼が登場し、病にも関わらず同行した清正に感謝します。すると清正は賤ヶ岳の合戦にて秀吉に賜った短剣を取り出して、万が一の時は豊臣の名誉のため短刀で秀頼を刺す心であったことを打ち明けます。改めて清正の配慮に感謝する秀頼に向かい、清正は幼少期の秀頼との思い出を語り、今日の秀頼の立派な姿を秀吉に見せたかったと涙します。



【二条城の清正】加藤清正=二代目吉右衛門
平成19年9月 歌舞伎座

秀山祭九月大歌舞伎 二世中村吉右衛門三回忌追善 昼の部の最後を飾るのが、秀山十種でもある「二条城の清正」です。秀山というのは初代中村吉右衛門の俳名で、秀山十種は初代中村吉右衛門の得意芸を集めた家の芸です。初代吉右衛門は清正役者と言われただけあって、多くが加藤清正に因む演目で構成されています。「二条城の清正」は初代吉右衛門にあてて書かれ、屈指の当たり役となったと言われています。今回は、二世吉右衛門の兄に当たる松本白鸚さんが加藤清正、白鸚さんの孫・市川染五郎さんが豊臣秀頼役で二世中村吉右衛門さんを偲びます。

(丹内 孝治 記)

第8回 夏季ゴルフ会

8月17日（木）に、第8回夏季ゴルフ会を龍ヶ崎カントリー倶楽部において参加者18名（アウト3組、イン2組）により開催しました。龍ヶ崎カントリー倶楽部のメンバーである宮崎徹夫氏のご厚意により、前回同様、参加者全員が同倶楽部開催の「シニア&レディス杯（参加者65名）」に参加し、新ペリア方式で順位を競いました。台風7号通過後の猛暑の中、18名が参加し、途中リタイアされた1名を除く17名が無事にホールアウトし、名門コースでのチャレンジングなゴルフを楽しむことができました。

プレー終了後、別室にて参加者17名による懇親会を開催しました。優勝は木村氏（ベスグロ、シニア&レディス杯4位）、準優勝は松野氏、3位は富樫氏という結果になりました。山田第三事業委員長の開会挨拶の後、宮崎氏、岡氏、優勝の木村氏、最年長参加の小野氏、久しぶりの参加の横手氏からご挨拶を頂戴しました。龍ヶ崎カントリー倶楽部からは、順位賞・飛び賞に加えて参加者全員が参加賞（地元の新鮮な野菜）を頂きました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

龍ヶ崎カントリー倶楽部は、地元自治体の首長、日本鋼管・河田社長（当時、龍ヶ崎市出身）と井上誠一氏等のご尽力により昭和33年11月に開場し、日本のベスト100コース（ゴルフダイジェスト版）のトップ10内にランクされている名門コースです。河田氏のお名前は12番ホールの池に架かる河田橋にそのお名前が残っています。難易度は高いですが、ホール毎に変化する美しい景観を楽しむことができます。来年も同倶楽部で夏季ゴルフ会を開催する予定ですので、奮ってご参加くださるよう、よろしく願いいたします。

（林 岳志・記）

♪ ゴルフ会優勝のご挨拶 ♪

猛暑の続いた2023年8月17日に龍ヶ崎カントリークラブで開催された伝統あるアイアンクラブゴルフ会にて初めて優勝することが出来ました。

アイアンクラブのゴルフ会に参加したのは今年からで3度目でした。優勝出来たのは3つの幸運がありました。1つは当日の汗が止まらぬ暑さで参加者のスコアが伸びなかったこと。2つ目は良きパートナーに恵まれ暑くても励まし合って頑張れたこと。そして3つ目には名門龍ヶ崎に挑戦できる喜びで失敗しても諦めなかったことです。

更に嬉しいことに龍ヶ崎シニア&レディース大会に参加したことで65人中4位に入賞、賞品もゲットしました。普段アイアンクラブでは囲碁会の幹事をさせて頂いておりますが、これからもゴルフと囲碁（GとG）を通じて体力維持とポケ防止で精進してゆきたいと思っております。感謝！

（木村 正文・記）



(第80回) 囲碁大会

－ 藤原孝次氏 優勝 －

第80回囲碁大会は9月25日（月）12時半よりアイアンクラブの会議室と談話室を利用して行いました。今回は80回記念大会という節目を迎えると共に、初めて七洋会との共同開催を実現することが出来、大いに盛り上がりました。

参加者は12名（内、七洋会からの参加4名）、競技は従来通り各自1～3回戦（1回戦は抽選による対局、2回戦以降は成績順の対局）の3局を行いました。その結果、栄えある優勝は藤原孝次3段（七洋会）となりました。準優勝は山田勉2段（元日本製鉄）、3位は猪熊研二5段（元日本製鉄）が入賞されました。BB賞は谷川侑3段（七洋会）でした。尚、谷川様は御年満93歳で当日は軽井沢から新幹線でご来場いただき、お元気で囲碁対局を全てこなし豊饒とされていました。これも囲碁の効用のお陰と話しておられました。

対局後、アイアンクラブ会議室に於いて表彰式・懇親会を行い、和やかにアイアンクラブ囲碁愛好者と七洋会囲碁愛好者との交流が実現しました。その懇親会で早くも次回を期待する声もあり、次回は来年1月29日（月）12時半より開催する予定ですので、アイアンクラブ・七洋会の囲碁愛好者は奮ってご参加下さい。初参加大歓迎です。

（木村正文・記）



🗨 囲碁大会優勝のご挨拶 🗨

藤原孝次（七洋会）

歴史あるアイアンクラブの囲碁大会（今回は節目の第80回大会）に、七洋会囲碁同好会を快くお招き賜り初めて参加させていただきました事に先ずもってお礼申し上げます。

当日は、七洋会囲碁同好会メンバーのうち最高齢の谷川侑さん（93歳）を筆頭に4名がエントリーしてアイアンクラブのメンバー8名（大半が日頃から存じ上げています）の方々と顔合わせさせてもらいました。

アイアンクラブの大会ルールに基づき、第1局は抽選の結果、佐藤眞樹様（三級、75歳から囲碁を始められた由）との対局となり、緊張の中、何とか勝たせて頂きました。

第2局と第3局は、得点上位からの順次組み合わせルールで、偶然にも2局目は山木誠次郎さん（二段）と、3局目は田代勝彦さん（六段）と、共に七洋会メンバー同士の対局でした。その分やや緊張が解れて気楽？に打てた事と、少しばかり年長の小生に花を持たせてくれてか連勝して、図らずも総合優勝の栄誉に与かりました。

後から振り返ってみますと、もし2～3局対戦者もアイアンクラブのメンバーさんであったならば、多分1局からの緊張が続いて碁を打ち切れなかったらうと思ひ浮かべております。

日頃は、NHKテレビの日曜囲碁対局を観戦するだけの怠け者ですが、今後も本会に参加させていただく為にも恥ずかしくない碁を打てるよう、今少し実戦勉強を積みたいと思っております。有難うございました。



谷川侑氏

第141回 麻雀大会 (令和5年9月21日)

コロナ明けから2回目の麻雀大会、当日は天候不順で、蒸し暑い中での開催となりました。参加人員が少なく、3人の新規参加者を含め、ようやくの3卓での開催となりました。少ないながらもいずれ劣らぬ雀士達の戦いが和気あいあい？悲喜ももごも？の中で行われました。4回戦の結果、優勝はなんと！！前回に引き続いて平山喜三氏<新日鉄OB>でプラス67のダントツ優勝、準優勝は山田清實氏<伊藤忠OB>、3位は羽矢惇氏<新日鉄OB>でした。ブービー賞は近藤裕行氏<新日鉄OB>でした。初参加は木村寛さん<新日鉄OB>、山田勉さん<新日鉄OB>、丹内孝治さん<三井物産OB>です。



*次回は12月12日(火)に開催、多くの参加者を期待しています。

*来年度は4回/年の開催 {3, 6, 9, 12月} とし、まず令和6年3月13日(水)の開催を決めています。

益々盛会となるようにアイアンクラブの皆様、宜しく御願致します。

(大西建男・記)

㊦ 麻雀大会優勝のご挨拶 ㊦

平山 喜三

9月21日(木)に開催された第141回麻雀大会で4度目の優勝をさせていただきました。

コロナ禍中断から再開2度目の大会、前回は上回る参加者に恵まれ3卓での戦いとなりました。開始前から明るい話し声や笑いが飛び交い、ようやく大会らしい心弾む雰囲気少しずつ部屋全体を包み込むようになってきました。

そんな空気を感じながら始まった1回戦、牌の動きが思いのほか重く僅差の展開、残念ながらマイナスで3位のスタート。2回戦、依然重い展開を凌ぎながら何とかプラス、トップではあったが牌運が背を押してくれているという感覚は感じられず。その雰囲気のまま3回戦へ、ここはダントツの羽矢さんの独り舞台、当方は本当にわずかなプラス。1-3回戦総合順位が気になっていましたが、丹内さん、山田委員長、羽矢さんに次いで辛うじて1卓メンバーに滑り込んでいました。最終戦は打って変わってほぼ思いどおりの展開、牌運にも恵まれてプラスを伸ばし優勝の栄誉をいただくことができました。



コロナ禍以前は5卓前後で開催されていました。参加者が多いほど会話と笑顔が満ちて楽しい雰囲気が広がります。お知り合いの方にもお声をかけていただければありがたく思います。

お知らせ



2023年忘年会

12月20日（水）講演会に引き続き、17時30分から、鉄鋼会館9階900号室にて開催します。



2024年新年賀詞交換会

日本鉄鋼連盟主催の新年賀詞交換会も4年ぶりに開催となります。

日時：令和6年1月5日（金）12：00～、会場：ホテルニューオータニ 芙蓉の間



関西・中部地区運営委員会

本年度2回目の運営委員会・懇談会、昼食会を開催します。また、寶馨氏（防災科学技術研究所理事長、日本高校野球連盟会長）を講師に「防災と野球」の講演があります。

12月7日（木）11時30分から、会場は、大阪駅に隣接したホテルグランビア大阪です。



自然散策

11月16日（木）に、浜離宮恩賜庭園を散策します。潮入の池と二つの鴨場をもつ江戸時代の代表的な大名庭園です。築地場外市場界限まで足を延ばします。みなさまの参加をお待ちしております。



名所旧跡散策

2024年は、首都圏の治水対策の一つとして設けられた地底50㍍を貫く6㍍の地下放水路を見学します。高さ18㍍、重さ500トンの59本の柱が天井を支える姿から《地下神殿》と呼ばれています。見学日は2024年4月11日（木）です。ご案内をお待ちください。



麻雀大会

第141回9月21日が無事終了しました。第142回は12月12日（火）、第143回は来年3月13日（水）に開催予定です。鉄鋼会館近くの雀荘「利一」で快適にプレーできます。



囲碁大会

第81回を新年1月29日（月）に開催します。こちらもお参加をお待ちしています。



ゴルフ大会

11月29日（水）第117回ゴルフ会 南総カントリークラブ

2024年2月22日（木）第118回ゴルフ会 鷹之台カントリークラブ

地域の会



千葉の会では、10月28日（土）に佐倉界限（国立民族博物館見学も）を散策しますので、千葉県在住の方はもちろん他地域からの方も歓迎いたします。



田園都市線の会では、第2回企画として、ENEOS根岸製油所見学と中華街探訪を行います。



中央線の会でも、12月16日（土）小金井散策（滄浪泉園 他）を行います。ご案内をお待ちください。



大相撲

大相撲一月場所（両国国技館）の観戦と、観戦後の「ちゃんこ料理」をセットにした新企画を第三事業委員会で用意しました。1月25日（木）で、12日目、後半戦の盛り上がりを期待ください。大相撲の熱戦の後、ちゃんこ料理も楽しんでください。

🎤 講演会の実績と今後の予定（敬称略）

回	開催日	講師	演題
549	7月11日	小坂 文乃（日比谷松本楼社長）	辛亥革命秘話 孫文と梅屋庄吉
550	8月28日	北村 滋（前国家安全保障局長）	我が国をめぐる地政学的変化と新国家安全保障戦略
551	9月12日	一柳 良雄（元通産省、経営コンサルタント）	変革の時代に求められる元気と知恵の経営
552	10月6日	藤崎一郎（中曽根平和研究所顧問、元駐米大使）	国際情報の見方

今後の予定

553	11月14日	河野 克俊（第5代統合幕僚長）	ウクライナ戦争・台湾有事と日本の安全保障
554	12月20日	寺島 実郎（日本総合研究所会長）	（仮）2024年への展望
555	1月16日	橋本 五郎（読売新聞特別編集委員）	（仮）安部晋三回顧録の裏話と現在の政治情勢
556	2月9日	阿古 智子（東京大学名誉教授）	（仮）中国。ロシア・米国の狭間で動く日本の針路
557	3月12日	原島 博（東京大学名誉教授）	（未定）

2024年4月以降の予定（講師の都合で変更になるかもしれません）

558	4月	櫻井よしこ（ジャーナリスト）	（仮）今の世界と日本の進むべき道
559	5月	伊藤 俊幸（元海将 統合幕僚長）	（仮）台湾有事のシナリオ
560	6月4日	大石 佳能子（㈱メディア代表取締役社長）	（仮）日本の医療制度について
561	7月	小池 敦義（Rapidus代表取締役）	（仮）日本の半導体産業の勝ち抜き戦略と展望
562	8月	山崎 直子（元JAXA宇宙飛行士）	（仮）地球を守る大切さ
563	9月	宮家 邦彦（キヤノングローバル戦略研究所研究主幹）	（仮）地政学と日本の大戦略

★ マンデーフォーラムの予定（敬称略）

回	開催日	講師	演題
13	10月30日	守島 基博（学習院大学経済学部教授）	戦略人材不足と組織力開発（解決方向について）
14	11月20日	梅本 宏彦（セイコーウエーブ㈱元代表取締役副社長COO）	（仮）逆風下でも風をあげるのが経営者
15	1月22日	三村 明夫（理事長、日本商工会議所元会頭）	（仮）日本の課題と底力
16	2月19日	堀埜 一成（㈱サイゼリア元社長）	（仮）サイゼリアの経営
17	3月4日	平野 克己（日本貿易振興機構上席主任調査研究員）	（仮）人口爆発 アフリカの光と影
18	4月8日	山下 一仁（キヤノングローバル戦略研究所研究主幹）	（仮）日本の食料安全保障

新会員の紹介 7月～9月の入会者（敬称略）



青木 泰
新日本電工(株)



伊東 健
三井物産(株)



今井 正
日本製鉄(株)



小川 満
JFE鋼鉄(株)



西村 悟
神鋼商事(株)



守沖 敦
NSハイパーツ(株)

会合・行事・講演会等の日程について

< >は会場。講演会、Monday Forumは、
特に記載のない限り会場は鉄鋼会館

会合・行事・講演会等	日 程	時 間	講 師・場 所 等
第52回 秋の旅	10月23日 (月) ～10月26日 (木)	-----	秋の東北（岩手県－盛岡、三陸、平泉など）
地域の会(千葉の会)	10月28日 (土)	10:00	第2回：歴博と佐倉の城下町訪問（締切10/13）
第13回 Monday Forum	10月30日 (月)	18:00	守島基博氏（学習院大学教授）Ⅱ
関西・中部地区会員 11文楽公演	11月4日 (土) ～11月26日 (日)	第一部10:30 第二部14:15 第三部17:45	<国立文楽劇場（大阪）>
第5回宝塚観劇会	11月5日 (日)	15:30	<東京宝塚劇場>
	11月8日 (水)	13:30	
七洋会11月講演会	11月7日 (火)	15:00	ラウラ・コピロウ氏（フィンランド大使館員） <鉄鋼会館8階801号室>
11月歌舞伎観劇会	11月11日 (土)	昼の部11:00	<歌舞伎座>
	11月21日 (火)	夜の部16:30	
11月午餐会・ 講演会（第553回）	11月14日 (火)	午餐会12:00 講演会12:30	河野克俊氏（第5代統合幕僚長）
自然散策会	11月16日 (木)	-----	浜離宮恩賜庭園界限（締切10/30）
第52回音楽鑑賞会	11月17日 (金)	19:00	第137回定期演奏会<紀尾井ホール>
	11月18日 (土)	14:00	
第47回総務委員会	11月18日 (土)	20:00	オンライン<Zoom>
第88回財務委員会			
第14回 Monday Forum	11月20日 (月)	18:00	梅本宏彦氏（BRAIN RESOURCE(株)代表取締役 元三菱商事、セイコーウオッチ元副社長COO）
第117回ゴルフ大会	11月29日 (水)	東 9:30	<南総カントリークラブ>
第9回広報委員会	12月5日 (火)	10:30	オンライン<Zoom>
関西・中部地区運営委員会 昼食会・講演会	12月7日 (木)	11:30	<ホテルグランヴィア大阪>
第142回麻雀大会	12月12日 (火)	12:00	<雀荘「利一」>
地域の会・中央線の会	12月16日 (土)	---	(仮) 小金井散策（滄浪泉園 他）

会合・行事・講演会等の日程について

< >は会場。講演会、Monday Forumは、
特に記載のない限り会場は鉄鋼会館

会合・行事・講演会等	日 程		時 間	講 師・場 所 等
正副理事長・正副委員長 懇談会	12月20日	(水)	14:30	鉄鋼会館805号会議室
12月講演会 (第554回)	12月20日	(水)	15:30	寺島実郎氏 (日本総合研究所会長) 鉄鋼会館801号会議室
令和5年忘年会	12月20日	(水)	17:30	鉄鋼会館900号会議室
第48回第二事業委員会	12月25日	(月)	10:30	<鉄鋼会館会議室804号会議室>
令和6年新年賀詞交換会	1月5日	(金)	12:00	日本鉄鋼連盟主催<ホテルニューオータニ>
1月午餐会・ 講演会 (第555回)	1月16日	(火)	午餐会12:00 講演会12:30	橋本五郎氏 (読売新聞特別編集委員)
第15回 Monday Forum	1月22日	(月)	18:00	三村明夫氏 (アイアン・クラブ理事長)
大相撲一月場所	1月25日	(木)	15:30	<両国国技館> (観戦後ちゃんこ料理の夕べ)
ニューイヤーコンサート 2024	1月26日	(金)	19:00	紀尾井ホール
	1月27日	(土)	14:00	
	1月28日	(日)	14:00	
第81回囲碁大会	1月29日	(月)	12:30	アイアン・クラブ会議室
2月午餐会・ 講演会 (第556回)	2月9日	(金)	午餐会12:00 講演会12:30	阿古 智子氏 (東京大学名誉教授)
第16回 Monday Forum	2月19日	(月)	18:00	堀埜一成氏 (株)サイゼリア元社長)
第118回ゴルフ大会	2月22日	(木)	Out/In 9:31	<鷹之台カンツリー倶楽部>
第17回 Monday Forum	3月4日	(月)	18:00	平野克己氏 (日本貿易振興機構 上席主任調査研究員)
3月午餐会・ 講演会 (第557回)	3月12日	(火)	午餐会12:00 講演会12:30	原島 博氏 (東京大学名誉教授)
第43回第一事業委員会	3月12日	(火)	14:15	<鉄鋼会館鍵室705号室>
第143回麻雀大会	3月13日	(水)	12:00	<雀荘「利一」>
第34回第三事業委員会	3月14日	(木)	10:30	<鉄鋼会館会議室805号会議室>
3月歌舞伎観劇会	3月吉日			<歌舞伎座>
第18回 Monday Forum	4月8日	(月)	18:00	山下 一仁氏 (キャノングローバル戦略研究所研究主幹)
2024年名所旧跡散策	4月11日	(木)	11:00	首都圏外郭放水路《地下神殿》 (埼玉県春日部市)

広報委員会からホームページ改訂のお知らせ

アイアンクラブのホームページをIT委員会の協力を得て、刷新致しました。ホームページの作成・更新を簡単にし、会員へのサービス向上を図るとともに、一般公開コンテンツと会員専用コンテンツに区分（会員専用欄の設置）することでセキュリティの確保をしました。

会員の皆様の一層の活用をお願いします。

《今回の改訂のポイント》

1 Word Press化（従来システムからの変更）

ホームページの新しいツールWordPressを導入したことで、ページの作成や更新が簡単に、柔軟にできるようにし、スマホでも見やすくしました。また、サーバーの容量拡大による多くのデータの蓄積が可能となったことと相まって、今後は過去の記事も簡単に見ることが可能となります。

2. 会員専用ページの設置

ID/パスワード（会員に別途通知）を設けセキュリティの向上を図り、今後の行事・講演予定等を会員専用ページに積極的に記載、随時追加していきます。

会員専用ページ内のお知らせ欄には各委員会からの情報発信をタイムリーに行う事が可能となります。また、会員相互の有意義な情報発信も受け止めて参ります。

3. 会員専用コンテンツ内の会報アーカイブ欄

過去全ての随想（ずいそう）目録、講演一覧を今後掲載し、一覧出来るように致します。将来的には検索機能も取り入れたいと思います。

《お願い》

会員専用コンテンツ設置により新たなホームページ活用アイデアをお寄せ戴きましたら引き続き改善に取り組んでいきます。新ホームページをご覧戴き、新たなアイデアを広報委員会・クラブ事務局まで連絡をお願い申し上げます。

令和5年10月 発行 アイアン・クラブ 事務局

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10
(鉄鋼会館内)

☎03-3669-4825

e-Mail : ironclub@ironclub.jp

URL:https://www.ironclub.jp